



環境市民活動

助成金セミナー

2016 in 鹿児島

報告書

開催日時 2016年11月19日（土）

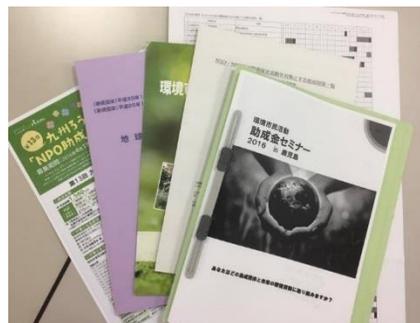
会場 かがしま環境未来館（多目的ホール）



- 【主催】 特定非営利活動法人 九州環境サポートセンター
一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
- 【後援】 公益財団法人かがしま環境未来財団

目次

1. 目次	
2. 開催概要	2
3. 開催スケジュール	3
4. 助成団体 助成制度資料	
公益財団法人かごしま環境未来財団	
• 「環境パートナーシップ活動助成金」	4
鹿児島相互信用金庫	
• 「そうしんまちづくり振興基金」	7
九州労働金庫	
• 「NPO助成」	10
独立行政法人環境再生保全機構	
• 「地球環境基金」	14
一般財団法人セブン-イレブン記念財団	
• 「環境市民活動助成」	17
5. アンケート結果	20
6. 会場の様子	22
7. 2016年度配布資料について	23



2. 開催概要

開催日時：	2016年11月19日（土）13：00～17：00 ※受付12：30～
目的：	助成制度について説明を受け、助成金のしくみや、助成団体が助成金を出す目的など、興味のある助成団体の担当者や他の参加者と情報交換を行うことで理解を深める。そして、より多くの団体が上手に助成金を活用し活動を発展させていくことを目的とし、自身の団体に合う助成制度を判断することが出来る、申請書が書けるようになる、実際に申請することを本開催の目標とする。
会場	かごしま環境未来館 多目的ホール （鹿児島市城西二丁目1-5 TEL：099-806-6666）
実施体制 ※敬称略	主催 特定非営利活動法人九州環境サポートセンター 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団 後援 公益財団法人かごしま環境未来財団
助成団体 ※敬称略	【全国対象】 ・一般財団法人セブン-イレブン記念財団 ・独立行政法人環境再生保全機構 【九州対象】 公益財団法人かごしま環境未来財団 鹿児島相互信用金庫（そうしん） 九州労働金庫（九州ろうきん）
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・2016～2017度 全国及び九州の環境助成制度一覧 ・事例紹介及び助成制度説明会プレゼン資料 ・参加助成団体の助成案内冊子等 ・会員及び協力団体、当団体の広報物 ・アンケート
集客方法	<ul style="list-style-type: none"> ・当局メルマガ配信及び九州圏の活動団体へメール ・開催地団体へのチラシを送付 ・当団体理事による呼びかけ ・九州環境サポートセンター、セブン-イレブン記念財団ホームページやFBでの広報 ・九州各地の主要団体・施設等への掲示・配布等広報依頼 ・エコライフカフェ開催時での広報 ・事務局による過去事業参加者、開催地団体への電話
参加費	一般：1000円 / 会員：500円（資料代等）
参加人数	23名

3. スケジュール

■12:30 受付開始

■13:00~13:10 開会

開会挨拶 NPO法人九州環境サポートセンター理事長 宮原 美智子
一般財団法人セブン-イレブン記念財団 井下 龍司

■13:10~14:35 助成制度説明会

各助成担当者より、助成制度の概要、募集要項、申請ポイント、今後のスケジュール等について説明。(20分×5団体)

13:15~13:25	公益財団法人かごしま環境未来財団
13:30~13:40	鹿児島相互信用金庫(そうしん)
13:50~14:00	九州労働金庫(九州ろうきん)
14:05~14:15	独立行政法人環境再生保全機構
14:20~14:30	一般財団法人セブン-イレブン記念財団

■14:40~15:00 質疑応答

助成担当者と参加者で情報交換。「助成制度説明会」の質疑、参加者と助成団体とのマッチング、助成申請初心者の参加者は他団体の話を聞いて情報収集

■15:00~15:10 閉会式

※スクール形式からブース形式へ会場レイアウト変更。

■15:15~16:45 個別相談会 ※自由参加

既に助成申請準備中の参加者が助成担当者と1対1で直接相談できる他、中間支援ブースで申請書の書き方についても相談できる時間。



助成団体御担当者との打合せの様子

公益財団法人かごしま環境未来財団 環境パートナーシップ活動助成金

助成金概要 (抜粋)

1. 対象団体：

鹿児島市（以下「市」という。）内に在住、在勤及び在学する5人以上の者で構成され、活動拠点が原則として市内にあり、かつ、市内において活動を行っている次の各号のいずれにも該当する団体

2. 対象事業：

原則として市内及び当該年度内に実施され、事業計画及び収支計画が明確な事業として多くの市民が参加することができる公益性が認められる事業、かつ、次の各号に掲げる事業とする。

- (1) 自然保護、環境保全、環境美化及び環境教育を目的とする事業
- (2) その他、理事長が特に認める事業

3. 申請方法：以下の書類を郵送または持参にて提出

(ホームページからダウンロード可能)

- (1) 助成金交付申請書
- (2) 団体調書
- (3) 助成事業実施計画書
- (4) 助成事業収支予算書

4. 申請期間 (年2回)

平成28年度例：

- (1) 年度下半期 実施予定の事業：
平成28年5月1日(日)～6月30日(木)(必着)
- (2) 次年度上半期実施予定の事業：
平成28年11月1日(火)～12月28日(水)(必着)

2017年度の詳細は直接お問合せ下さい！

環境パートナーシップ活動助成金♪

みなさんの環境活動 応援します！

環境保全活動や環境学習を実施する鹿児島市内の団体に
助成金3万円を交付します！



よりよい環境づくりをめざしてチャレンジしてみませんか？

【募集期間】1回目：5月～6月末（年度下半期実施分）
2回目：11月～12月末（次年度上半期実施分）

応募方法その他詳細は、かごしま環境未来館のホームページをご覧ください。
みなさまのご応募をお待ちしています。



かごしま環境未来館

主催：公益財団法人かごしま環境未来財団



◆助成金申請書記入例

様式1 (第6类関係)

助成金交付申請書

20×0年11月20日

公益財団法人かごしま環境未来財団
理事長 森 博 幸 成

申請者 住 所 鹿児島市〇△町1-2
団体名 NPO法人〇▽△□◇
代表者氏名 環境 太郎

平成29年度において、下記のとおり事業を実施するため、環境パートナーシップ活動助成金の交付を受けたいので、環境パートナーシップ活動助成金交付要綱第6条により、関係書類を添えて申請いたします。

記

事業名称	森の声をきいていっしょに遊ぼう！		
助成事業の目的及び内容	森のはたらきと私たちの暮らしの現状について、持続可能な未来を守るために自分たちができることを家族と一緒に学びます。また竹を使ったおもちゃ作りを行います。		
助成対象事業費	41,000円		
助成交付申請額	30,000円		

(参考)

記入者(事務担当者)氏名	森川 海子		
連絡先	電話番号	FAX番号	E-mail
	099-260-△△△△	099-260-△△△△	kankyo〇▽△◇@gmail.com

【添付書類】

- ①別紙1 (団体調査)
- ②別紙2 (助成事業実施計画書)
- ③別紙3 (助成事業収支予算書)

別紙2 (申請書添付資料)

助成事業実施計画書

事業名称	森の声をきいていっしょに遊ぼう！		
実施主体団体名	NPO 法人〇▽△□◇		
参加予定人数	15組 30人程度		
募集方法	FAX、メール		
実施予定時期	20×0年 7月 25日(日) 9時 30分から 年 月 日() 12時 00分まで		
実施場所	鹿児島市森山町1000 香地 〇▽△□◇の森公園		
事業の趣旨・目的	森のはたらきと私たちの暮らしの現状について、持続可能な未来を守るために自分たちができることを家族と一緒に学びます。また竹とんぼ作りを行います。		
事業の内容	(1)集合場所：森山町の〇▽△□◇の森公園 管理棟前 (2)定員：30人(親子15組) (3)参加費：300円(保険代を含む) (4)内容：9:30：〇▽△□◇山に登りながら、途中森のはたらきについてレクチャーする。 11:00：竹とんぼ作り(30分) 11:30：竹とんぼで遊ぼう・アンケート記入 12:00：終了・解散 ※ 6月15日：チラシ配布、募集開始、～7月20日まで		
実施により見込まれる効果	森が命を育み、土を作り、川を流し、大気を浄化して二酸化炭素を吸収してくれることなど、自然のしくみについて、森に入っていた五感をフル活用して学ぶことで、環境保全の大切さを感じていただきます。		

※事業の内容欄は、具体的な実施内容、スケジュール、対象者、定員、参加費、申込み・問い合わせ先、募集期間等詳細に記入してください。
※企画書等実施内容がわかるものがあれば、あわせて提出してください。

別紙3 (申請書添付資料)

助成事業収支予算書

(単位：円)

取	項目		見込み金額	備考
	入	環境パートナーシップ活動助成金		30,000
自主財源		2,000		
その他収入		参加費	9,000	300円×30人
合 計		41,000		

支	項目		見込み金額	備考
	出	研修室使用料		2,000
講師料		20,000	5,000×2h×2人	
工作材料費		3,000		
保険料		6,000		
チラシ・レジュメ印刷費		10,000	チラシ200枚・資料30部	
助成対象外支出				
助成対象外支出				
合 計			41,000	

※収支予算書等経費内訳が分かるものがあれば、あわせて提出してください。

様式1 (第6类関係)

助成金交付申請書

20×0年11月20日

公益財団法人かごしま環境未来財団
理事長 森 博 幸 成

申請者 住 所 鹿児島市〇△町1-2
団体名 NPO法人〇▽△□◇
代表者氏名 環境 太郎

平成29年度において、下記のとおり事業を実施するため、環境パートナーシップ活動助成金の交付を受けたいので、環境パートナーシップ活動助成金交付要綱第6条により、関係書類を添えて申請いたします。

記

事業名称	〇△山のフィールド整備管理事業		
助成事業の目的及び内容	〇△山は毎月2回以上、年間30回程度、体験学習のフィールドになっています。子供たちを中心に利用者の安全のためにこのフィールドの草刈り、道具の点検整備などを年間5回程度実施しています。		
助成対象事業費	33,500円		
助成交付申請額	30,000円		

(参考)

記入者(事務担当者)氏名	森川 海子		
連絡先	電話番号	FAX番号	E-mail
	099-260-△△△△	099-260-△△△△	kankyo〇▽△◇@gmail.com

【添付書類】

- ①別紙1 (団体調査)
- ②別紙2 (助成事業実施計画書)
- ③別紙3 (助成事業収支予算書)

◆助成金申請書記入例

別紙2 (申請書添付資料)

助成事業実施計画書

事業名称	○△山のフィールド整備管理事業		
実施主体団体名	NPO法人○▽△◇		
参加予定人数	4人×5回 のべ20人		
募集方法	会員への電話		
実施予定時期	20×○年 5月 第4金曜日	9時～12時	
	20×○年 6月 第4金曜日	9時～12時	
	20×○年 7月 第4金曜日	9時～12時	
	20×○年 8月 第4金曜日	9時～12時	
	20×○年 9月 第4金曜日	9時～12時	
実施場所	鹿児島市森山町1000番地 ○▽△◇の森		
事業の趣旨・目的	○△山は毎月2回以上、年間30回程、体験学習のフィールドになっています。子供たちを中心に利用者の安全のためにこのフィールドの草刈り、遊具の点検整備などを年間5回程実施しています。		
事業の内容	(1)集合場所：森山町の○▽△◇の森公園 駐車場 (2)参加者：4人×5回 (3)内容：9:00：○▽△◇山の体験フィールドの除草 (刈払い機、チェーンソーによる竹の伐採や除草。プランコやシーソーなど手作り遊具の点検、整備など) 12:00：終了・解散		
実施により見込まれる効果	○▽△◇山での様々なイベント・体験学習を安全に実施することにつながる。		

※事業の内容欄は、具体的な実施内容、スケジュール、対象者、定員、参加費、申込み・問い合わせ先、募集期間等詳細に記入してください。

※企画書等実施内容がわかるものがあれば、あわせて提出してください。

別紙3 (申請書添付資料)

助成事業収支予算書

(単位：円)

収入の部	項目	見込み金額	備考
	補助金	30,000	
自主財源	8,500		
その他収入			
合計	38,500		

支出の部	項目	見込み金額	備考
	燃料費	18,500	60時間 (4人×3h×5回) 1hで約時間作業できるので 30h×450円
交遊費	20,000	4人×5回×1,000円	
助成対象外支出			
合計	38,500		

※収支予算書等経費内訳が分かるものがあれば、あわせて提出してください。

助成金交付申請から実施までの流れ

区分	平成28年度下半期実施予定の事業	平成29年度上半期実施予定の事業
募集期間	平成28年5月～6月	平成28年11月～12月
審査期間	平成28年7月～8月	平成29年1月～2月
選考結果の発表	平成28年9月	平成29年3月
事業の実施	平成28年10月～3月	平成29年4月～9月
事業実績の報告	～平成29年4月	～平成29年10月

公益財団法人かごしま環境未来財団 問合せ先

団体所在地	〒890-0041 鹿児島市城西二丁目1-5
電話・又は携帯	099-806-6666(代表)
ファックス	099-806-8000
メールアドレス	kankyo@kagoshima-miraikan.jp
ホームページ	http://www.kagoshima-miraikan.jp/

鹿児島相互信用金庫 そうしんまちづくり振興基金

助成金概要 (抜粋)

1. 対象団体：

鹿児島県内に本店又は本部を有する団体、鹿児島県内に居住している個人、又は居住の方々のグループにより行われるものを助成の対象とする

2. 対象事業と助成金の額：

事業名	事業又は活動対象	助成金の額
1. まちなみ景観づくり 推進事業	①都市空間の緑化・緑地保全 公園、道路、河川、学校等の公共空間及び民有地の緑化、緑地保全	標準 10万円
	②都市景観の改善 ランドマークとなる時計台、彫刻等の設置及びベンチ、街灯、舗装、標識、ポスト、電話ボックス等の改良、ガードレールの改善、ストリートファニチュアの工夫、花壇の設置等による景観の改善	標準 20万円
2. まちなみ景観保全 事業	①歴史的まちなみの保存 史跡、遺跡、文化財、伝統的まちなみ、歴史的まちなみ、歴史的建造物等の保全および保存	標準 20万円
	②自然環境の保全 都市空間における自然環境の保全等	標準 10万円
3. まちづくりに関する 調査、研究事業	①まちづくりに関する創造的かつ自主的な事業又は活動の企画、調査、研究	標準 10万円
	②まちづくりに関する広報、講演会等	標準 10万円
	③まちづくりに関するリーダーの育成、専門家の招へい等	
4. 公共的施設などの 整備事業	①公共的施設の設置、改修等 イベントホール、駐車場、アーケード、街灯等の設置、整備、改修等	標準 10万円
5. まちなみ活性化助成事業	①まちなみ活性化のための各種イベントの開催、参加及び調査研究	標準 10万円
	②市民祭、文化祭、運動会、展覧会等の開催	
6. その他まちづくりの 目的を達成するために必要な事業	①公共施設の整備充実 学校、公民館、集会所、図書館、資料館等における設備、機器、備品、図書、資料等の購入、整備、改善等	標準 20万円
	②その他	

3. 申請方法：申込時必要書類

- ◆助成金交付申請書（申請書以外は各事業独自のもので可） ・ 資金使途明細書（見積書等）
- ・ 対象物件の図案等 ・ 活動内容のわかる資料（事業団体の総会資料等） ・ 当該事業の収支計画書（案）
- ・ 決算内容のわかる資料（事業団体の総会資料等） ・ 写真等（今までの活動状況の参考となるもの）

4. 申請期間（年4回）平成28年度例：

受付期間	運営委員会選考	助成金交付時期	受付期間	運営委員会選考	助成金交付時期
12月～2月	3月	4月末頃	6月～8月	9月	10月末頃
3月～5月	6月	7月末頃	9月～11月	12月	1月末頃

2017年度の詳細は直接お問合せ下さい！

はじめに

公益信託「そうしんまちづくり振興基金」(以下、公益信託)は、鹿児島県内における「まちづくり」に関する諸事業の実施や活動に対する助成を行うことにより、地域の振興と住民の方々の快適で明るく豊かな地域社会の創造・発展に役立てていただくものです。

公益信託「そうしんまちづくり振興基金」

鹿児島相互信用金庫
H28.11.19

公益信託創設について

- 公益信託は、当金庫が平成3年2月をもって創立60周年を迎える記念事業の一環として平成2年10月に設立しました。
- 鹿児島県内における「まちづくり」に関する諸事業に協力できることは、地域金融機関の地域貢献活動としての使命であると考え、公益信託を通して公平な社会還元に寄与し役立てていただいています。

平成28年9月末現在 累計1,440件 119,521千円

公益信託の運営について(1)

- この公益信託の事業に要する資金は、原則、信託財産の運用収益によって充当するものとされています。また、「特定公益信託」[◆]であることから、当金庫から運営委員を置くことはできず、全て外部有識者の委員(6~10人)で構成された運営委員会にて、極めて公平かつ偏らない選考や決定がなされています。
- 平成2年10月設立以来、毎年3・6・9・12月に運営委員会を開催し、助成希望案件について委員の方々の活発な討議がなされ、公平な審議のもと助成の適否・助成金額が決定されています。

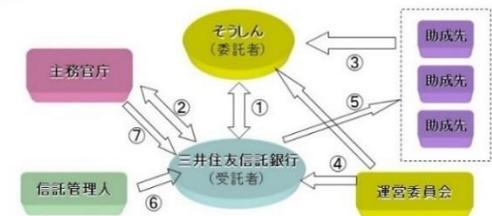
◆一般公益信託と違い、他にも一定の要件を満たす必要があり、主務官庁より証明を受けたもの

公益信託の運営について(2)

- 助成金交付後、当該事業の完了時に報告書・物件の写真・活動時の写真を提出していただき、また、該当営業店の職員の助成事業参加等により、本来の目的通りの利用がなされているか確認をしています。そして、次回運営委員会で前回助成先の進捗状況・活動内容等の報告がされます。
- 公益信託の事業年度は毎年4月1日開始、翌年3月31日終了となっています。受託者[◆]は、毎事業年度開始前に事業計画書および収支予算書を作成し、事業年度終了後は事業状況報告書・収支決算書・当該事業年度末の財産目録を作成し、信託管理人の承認を得た上で鹿児島県知事に提出します。

◆ 委託者＝鹿児島相互信用金庫、受託者＝三井住友信託銀行、運営委員・信託管理人＝外部有識者、主務官庁＝鹿児島県

公益信託の仕組み



- ①委託者と受託者間で打合せ、公益信託契約の締結。
- ②受託者から主務官庁へ申請。主務官庁は審査のうえ許可。
- ③助成希望事業の助成金交付申請書を提出。
- ④運営委員会は、助成先の選考および公益信託の事業の遂行について助言・助告を行う。
- ⑤公益信託の目的に沿った助成先への助成金の交付。
- ⑥信託管理人は、不特定多数の受益者のいわば代表者として、重要事項の承認をする。
- ⑦公益信託の事務処理等を検査・監督する。

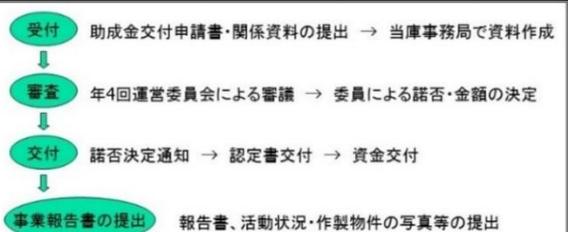
助成対象となる事業

助成の対象としては、鹿児島県内に本店又は本部を有する団体、鹿児島県内に居住している個人、又は居住の方々のグループにより行われるものを助成の対象とします。

事業名	事業内容及び補助対象	助成金の額
1. まちなみ景観づくり推進事業	①都市空間の緑化・緑地保全 公園、緑地、河川、学校の緑地及び民有地の緑化、緑地保全 ②都市景観の改善 ランドマークとなる時計台、美術館の設置及びベンチ、遊具、舗道、ポスト、電話ボックス等の改良、ガードレールの改善、ストリートファニチャーの工夫、花壇の設置等による景観の改善	標準 10万円 標準 20万円
2. まちなみ景観保全事業	①歴史的まちなみの保存 史跡、遺跡、文化財、伝統的まちなみ、歴史的まちなみ、歴史的建造物等の保全および保存 ②自然環境の保全 都市空間における自然環境の保全等	標準 20万円 標準 10万円
3. まちづくりに関する調査、研究事業	①まちづくりに関する自治体、議会等 ②まちづくりに関するリーダーの育成、専門家の招へい等	標準 10万円
4. 公共施設などの整備事業	①公共施設の設置、改修等 イベントホール、駐車場、アンケート、遊具等の設置、整備、改修等	標準 10万円
5. まちなみ活性化助成事業	①まちなみ活性化のための各種イベントの開催、参加及び調査研究 ②市民祭、文化祭、運動会、懇話会等の開催	標準 10万円
6. その他まちづくりの目的を達成するために必要な事業	①公共施設の整備充実 警備、公民館、美術館、図書館、資料館等に関する設備、備品、図書、資料等の購入、整備、改修等 ②その他	標準 20万円

受付から助成金交付・事後管理

受付期間	運営委員会選考	助成金交付時期
12月～2月	3月	4月末頃
3月～5月	6月	7月末頃
6月～8月	9月	10月末頃
9月～11月	12月	1月末頃



申込時必要書類

- 助成金交付申請書
- 資金使途明細書(見積書等)・対象物件の図案等
- 活動内容のわかる資料(事業団体の総会資料等)
- 決算内容のわかる資料(事業団体の総会資料等)
- 当該事業の収支計画書(案)
- 写真等(今までの活動状況の参考となるもの)

※助成金交付申請書以外は、各事業の独自のもので構いません。

注意事項 (1)

- 次のものに対しては、助成対象から除外されます
 - 申請団体の経常的運営資金
 - 広告・協賛・寄付目的の申込
 - 営利を目的とする活動、宗教活動、政治活動の懸念があるもの
 - 申請者の組織・責任の所在が不明確なもの
 - 事業計画の内容と助成希望金額が不適正なものなど

注意事項 (2)

- 公益信託の助成金は、運営委員会の審議・決定後に交付されます。
- 運営委員会の選考の結果によっては、助成を見送らせていただく場合や、助成金を減額する場合があります。
- 報告書の提出が無い場合や、交付された助成金をその目的以外に使用した場合は、助成金を返還していただくことがあります。



鹿児島相互信用金庫 問合せ先

団体所在地	〒892-0822 鹿児島市泉町2番3号 本店営業部
電話・又は携帯	099-223-5111 (代表)
ファックス	099-227-4582
ホームページ	https://www.kasosin.com/

九州労働金庫 N P O助成

助成金概要 (抜粋)

1. 対象団体：
営利を目的とせず、九州ろうきんの営業エリア内に主たる事務所を設ける団体を対象とします。
(1) N P O法人 (2) ボランティアグループ (3) 市民活動団体 等
※団体の規模や法人格の有無は問いません。
2. 対象事業：
九州ろうきんの営業エリア内において事業活動が行われ、特定非営利活動促進法で認証されている20分野
・まちづくりの推進を図る活動 ・環境の保全を図る活動 ・災害救援活動
…その他全20分野の事業
3. 応募の条件
・助成金の交付を受けた団体名および団体の主な活動内容が、九州ろうきんのホームページおよび情報誌等で公開されることに同意できること。
・助成金の交付を受けた団体は、各県で開催されるフォーラム(贈呈式)に参加ができること。
・助成金を活用した活動について、団体内の情報誌等での公表およびろうきんへの事後報告が可能なこと
4. 申請方法：以下の必要書類の提出
(1) ろうきん所定の申請用紙
(2) 設立趣意書・定款・規約・会則など
(3) 事業計画書
(4) 収支予算書・前年度決算書
(5) 見積書・パンフレット(設備機器購入の場合)
(6) 団体が発行する機関紙/パンフレット等(発行している場合)
5. 申請期間(年1回)
2017年度例：
申請期間 : 2016年4月18日～6月10日
応募団体審査 : 2016年7月上旬
助成決定通知 : 2016年7月下旬

2017年度の詳細は、決定次第、店頭・ホームページなどで告知予定。

2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」

活用しよう!! 九州ろうきんの「NPO助成」



九州労働金庫
総合企画部経営企画課
(TEL:092-714-6375)

2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」



まずはじめに、

「ろうきん」とは
どんな金融機関?...



2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」



ろうきんは、日本でただひとつ、
非営利の福祉金融機関です。

—目的—

はたらく仲間が
つくれた福祉金融機関

—運営—

営利を目的
としない金融機関

—運用—

生活者本位に
考える金融機関

2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」



ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する
協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および
文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる
社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、
そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、
運動と事業の発展に努めます。
ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、
健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」



それでは、

“九州ろうきん
「NPO助成」のご案内”

をさせていただきます。



2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」



九州で頑張るNPO法人等、各団体のみなさまへ
“九州ろうきん「NPO助成制度」”

〈九州ろうきん〉では、お客さまからのボランティア定期預金
「NPOパートナーズ」による寄付金と九州ろうきんの拠出金
を財源として、市民活動団体ならびにボランティア団体等に
寄付を行う「NPO助成」制度を設けています。九州で頑張る
NPOのみなさま、ぜひともご活用ください。

〈ろうきん〉の理念である「人々が喜びをもって共生できる社
会の実現」に共感いただけるみなさまの積極的な応募を心よ
りお待ちしております。

2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」



九州ろうきんの「NPO助成制度」しくみ



九州ろうきん「NPO助成制度」

参考：九州ろうきん「NPO助成制度」では、平成15年以降、925団体へ、約2億2百万円の助成を行いました。

2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」

①対象となる団体

営利を目的とせず、九州ろうきんの営業エリア内に主たる事務所を設ける団体を対象とします。

- (1) NPO法人
 - (2) ボランティアグループ
 - (3) 市民活動団体等
- ※団体の規模や法人格の有無は問いません。

②対象となる事業活動

九州ろうきんの営業エリア内において事業活動が行われ、特定非営利活動促進法で認証されている**20分野**とします。

※20分野については、内閣府NPOホームページをご参照ください。



2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」

③応募条件

- ・ 助成金の交付を受けた団体名および団体の主な活動内容が、九州ろうきんのホームページおよび情報誌等で公開されることに同意できること。
- ・ 助成金の交付を受けた団体は、各県で開催されるフォーラム（贈呈式）に参加ができること。
- ・ 助成金を活用した活動について、団体内の情報誌等での公表およびろうきんへの事後報告が可能であること。



2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」

④選考基準

- (1) 活動の目的および内容が明確であり、将来性・継続性があること
 - (2) 資金使途が明確であること
 - (3) 先駆的・モデル的な活動であること
- ※他の助成団体から重複して助成を受けている事業は対象外とします。

⑤助成金額

(1) 助成総額1,560万円 (過年度の実施内容)

内訳（県ごとの助成金）					
福岡県	300万円	佐賀県	210万円	長崎県	210万円
大分県	210万円	宮崎県	210万円	鹿児島県	210万円
				熊本県	210万円

(2) 1団体あたりの助成額：各県ごとの助成枠の範囲内の金額

2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」

⑥申請手続（必要書類の提出）

- (1) ろうきん所定の申請用紙
- (2) 設立趣意書・定款・規約・会則など
- (3) 事業計画書
- (4) 収支予算書・前年度決算書
- (5) 見積書・パンフレット（設備機器購入の場合）
- (6) 団体が発行する機関紙/パンフレット等（発行している場合）

⑦申請期間

※ 決定次第、ホームページ・店頭にて告知します。



2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」

⑧スケジュール（過年度実施分）

申請期間 : 平成28年4月18～6月10日
 応募団体審査 : 平成28年7月上旬
 助成決定通知 : 平成28年7月下旬
 助成金贈呈 : 平成28年8月下旬

※選考は「九州ろうきんNPO助成審査委員会」が行います。

※来年度の実施内容につきましては、決定次第、ホームページ・店頭にて告知いたします。

なお、制度の見直し等により、内容が変更となる可能性もあります。予めご了承ください。



2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」

九州ろうきんの社会貢献活動

NPOとの協働による取り組み

- 1 NPO自動寄付システム「NPOサポーターズ」**
 指定日(20日もしくは25日)に、お客さまの普通預金口座からお客さまの応援するNPO法人の口座に自動振替で寄付する制度です。1回の寄付額は100円以上(100円単位)で、寄付先は市民への情報公開性や事業の社会性、会計の安定性等を基準にろうきんが選定したNPO法人(紹介NPO)のなかから選択いただけます。
- 2 NPO事業サポートローン**
 NPO法人の運転資金や設備資金をご融資し、資金面でサポートする制度です。
 *2016年3月末で、累計41件・1億7千5百万円をご融資しました。
- 3 NPO振込手数料免除制度**
 団体の運営に欠かせない会費や寄付金集めを、九州ろうきんの本支店を利用して行う場合に振込手数料を免除する制度です。1団体あたり年間100件を上限として、専用のお振込用紙を配布いたします。
 *2016年3月末で、累計28団体のお申込みがありました。



九州ろうきん
<http://kyusyurokin.or.jp/>
 九州労働金庫

2016/11/19 2016年度「環境市民活動助成金セミナー in 鹿児島」



九州労働金庫（九州ろうきん） 問合せ先

団体所在地	〒810-0074 福岡市中央区大手門 3-3-3	
担当課	総合企画部経営企画課	
電話・又は携帯	096-714-6375	
ホームページ	http://kyusyurokin.or.jp/company/csr/	NPO助成制度

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金

助成金概要 (抜粋)

助成メニューは、はじめる助成 (旧入門助成) つづける助成 (新設) ひろげる助成 (旧一般助成) となりました。

1. 対象団体：

①特定非営利活動法人 ②(一般/公益) 社団法人、財団法人③任意団体 (要件あり)

2. 助成金メニュー

助成の種類	概要	助成期間	年間助成金額
はじめる助成 (旧入門助成)	地域活動の種を育て、地域に根付いた活動を中心に、地域からの環境保全のボトムアップの充実を目指す支援制度	1年間 (1団体1回限り)	50万円～300万円
つづける助成 (新設)	地域にねざすことなどを目指して始めた活動が、継続し、持続的な活動へと定着することを支援する制度	最大3年間 (1団体1回限り)	0万円～300万円
ひろげる助成 (旧一般助成)	課題解決能力等に磨きをかけ、より効果的な活動の展開を実現し団体組織のステップアップを目指す支援制度	最大3年間	200万円～800万円
フロントランナー助成	日本の環境NGO・NPOが中心となり、市民社会に新たなモデルや制度を生み出すための支援制度	原則3年間	600万円～1,200万円
プラットフォーム助成	日本の環境NGO・NPOが他のNGO・NPOなどと横断的に協働・連携し特定の環境課題解決のために大きな役割を果たすことを目指す支援制度	最大3年間	200万円～800万円
復興支援助成	東日本大震災及び熊本地震の被災地域における環境保全を通じて、これら地域の復興に貢献しようとする活動への支援制度	最大3年間	100万円～500万円
特別助成	東京2020大会の開催に向け、環境面でのレガシー、市民参加による環境保全のムーブメントの創出を目指す支援制度	原則1年間	200万円～600万円

3. 申請方法：原則郵送提出、プロジェクトによりメ切日が異なるので注意 (メール等の提出不可)

4. 申請期間 (年1回)

2016年度例：

継続プロジェクト 2016年11月16日～2016年12月14日

新規プロジェクト 2016年12月15日～2017年1月16日

2017年度の詳細は、ホームページ等、要参照。





「環境市民活動助成金セミナーin 鹿児島」

平成28年11月19日(土)
13:00~17:00
かごしま環境未来館 多目的ホール
独立行政法人 環境再生保全機構
地球環境基金部

1. 環境再生保全機構について



環境施策に関わる公的機関

所 管： 環境省
所 在： 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番
設 立： 平成16年4月

業務内容

- 公害健康被害の補償業務と予防業務
- 地球環境基金業務
- 石綿健康被害救済業務 など

2. 地球環境基金について

(1) ビジョンとミッション



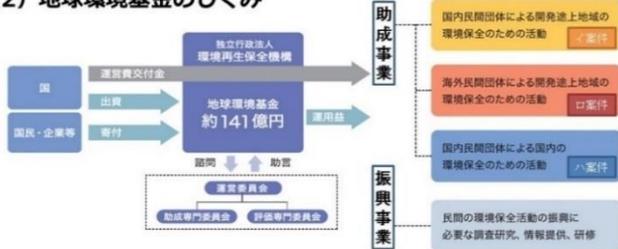
ビジョン

環境NGO・NPO活動の支援を通じて持続可能な社会の実現に貢献する。

ミッション

- ①活動の量・質の充実
- ②組織機能の強化
- ③地域での連携・協働
- ④国際的な展開

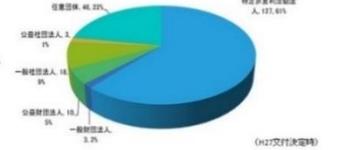
(2) 地球環境基金のしくみ



2. 地球環境基金について

(3) 応募団体要件

- ①特定非営利活動法人
- ②(一般/公益)社団法人、財団法人
- ③任意団体 (要件あり)



(4) 対象活動分野



2. 地球環境基金について



(5) 活動対象地域と活動の区分

	活動地域： 海外（開発途上地域）	活動地域： 国内
国内の民間団体	イ案件	ハ案件
海外の民間団体	ロ案件	

(6) 活動形態

- 実践
- 知識の提供・普及啓発
- 調査研究
- 国際会議

2. 地球環境基金について

(7) 平成29年度 助成メニュー

助成の種類	概要	28年度 団体数	助成期間	年間助成金額
はじめる助成 (08入門助成)	地域活動の種を育て、地域に根付いた活動を中心に、地域からの環境保全のボトムアップの充実を目指す支援制度	36	1年間	50万～300万円
つづける助成 (新設)	地域に根ざすことなどを目標して始めた活動が、継続し、持続的な活動へと定着することを支援する制度	—	最大3年間	50万～300万円
ひろげる助成 (08一般助成)	課題解決能力等に働きかけ、より効果的な活動の展開を実現し団体組織のステップアップを目指すための支援制度	157	最大3年間	200万～800万円
フロントランナー 助成	日本の環境NGO・NPOが中心となり、市民社会に新たなモデルや制度を作るための支援制度	4	原則3年間	600万～1,200万円
プラットフォーム 助成	日本の環境NGO・NPOが横断的に協働・連携し国際会議等で意見表明を行うなどの大きな役割を果たすための支援制度	3	最大3年間	200万～800万円
復興支援助成	東日本大震災及び熊本地震の被災地における環境保全を通じた復興に資する活動への支援制度	12	最大3年間	100万～500万円
特別助成	東京2020に向けた活動で、東京2020から環境面でのレガシー、市民参加による環境保全のムーブメントを創出するための支援制度	3	原則1年間	200万～600万円
つり環境ビジョン 助成	一般社団法人日本約用品工業会からの寄付によるものであり、清掃活動など、水辺の環境を構築するための支援制度	8	原則1年間	総額 900万円



2. 地球環境基金について

(8) 助成実績

平成5年度～28年度の24年間→総額154億円、4640件の助成

うち国内案件(65%：八案件)、海外案件(35%：イ案件、ロ案件)

助成件数の推移



4. 地球環境基金の採択ポイント

- プロジェクトデザインがしっかりしているか？
 - 「何を目的とした活動なのか？」「活動すると環境の何がどう変わるのか？」。数枚の「助成金交付要望書」ですが、このことが読み取れないケースが多々あります。目標、アウトカム(成果の目標)、アウトプット(活動実施の目標)、そして活動の関係を明確に示してください(数値目標が重要！)
- 募集案内の内容に一致しているか？
- 計画が適切か、無理がないか？
- 第三者のチェックを受けているか？

4. 地球環境基金の採択ポイント

	高く評価	不採択になるもの
多様性志向	<ul style="list-style-type: none"> 活動をさらに発展させるような活動 活動の幅を広げるような活動 新たな取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 団体の既存活動と同様の活動
起業自立志向	<ul style="list-style-type: none"> 物を買ったり、作ったりしたあとの活用方法が明確で、自立していく道筋があるもの 特に事業化を目指す活動は、市場形成、サプライチェーン戦略があるもの 	<ul style="list-style-type: none"> 物品資材の購入ばかり
協働志向	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちだけでなく、連携・協働、まきごみ、ネットワーク化など志向しているもの 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の将来性、発展、目標達成につながるような道筋が見られないもの

5. 地球環境基金の評価について



6. 地球環境基金 助成金の支払い

**原則：
精算払い**

平成29年7月～平成30年3月の間に
5回申請の機会があります。

**例外：
一部概算払い**

助成2年目以降の継続団体が要望し、かつ
審査を通過した場合。(要件あり)

対象経費項目：

- ①賃金 ②謝金 ③旅費
④物品・資材購入費
⑤借損料・役務費
⑥事務管理費
(各種上限金額あり)

主な対象外経費：

1. 有給従業員への謝金・賃金
例外：若手プロジェクトリーダー育成支援プログラムの活動推進費(要件あり)
2. 飲食に係る経費

※補助金適正化法が適用されるため、厳密な審査が求められます。
※支払申請が妥当であることを確認するために、領収書や証拠書類などを提出していただきます。

7. 地球環境基金 手続きの流れ

	新規プロジェクト	継続プロジェクト
平成29年度 助成金		
募集案内 公表	平成28年11月16日	
助成金交付要望書 募集期間	平成28年12月15日 ～平成29年1月16日	平成28年11月16日 ～12月14日
助成金交付 内定通知	平成29年3月31日	
助成対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
内定団体説明会・個別面談	平成29年4月	

・地球環境基金の助成金説明会・相談会を、11～12月に全国9箇所で行います。
(12月9日 熊本県熊本市国際交流会館)

独立行政法人 環境再生保全機構 問合せ先

団体所在地	〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー
担当課	地球環境基金部地球環境基金課
電話	044-520-9505
ファックス	044-520-2192
ホームページ	https://www.erca.go.jp/

一般財団法人セブーンイレブン記念財団 環境市民活動助成

助成金概要 (抜粋)

1. 助成のメニュー(対象分野等詳細は応募要項を参照)

	趣旨	対象団体	助成枠
NPO基盤強化助成	助成期間内に財政基盤を強化し、活動を継続することができる自主事業の確立を目指す団体を支援	「環境の保全を図る」活動が活動分野と認証され、法人として3年以上活動実績のあるNPO法人	年間助成金額 400万円×3年間 6団体 3年間継続
活動助成	環境市民活動に必要な経費を支援	NPO法人 一般社団法人 任意団体 (環境をテーマにしていること)	年間助成金額 NPO、一般社団： 200万円/1団体 任意：50万円/1団体 総額1億円 単年
緑化植花助成	緑と花咲く街並みをつくる活動を支援	継続して組織的に活動を行っている市民団体	年間助成金額 上限40万円/1団体 総額2000万円 単年
清掃助成	ごみのない環境をつくる活動を支援	年間を通じ定期的に清掃を行っている市民団体	年間助成金額 上限20万円/1団体 総額600万円 単年

2. 申請方法：以下の必要書類の提出

申請書は、ホームページからダウンロード、又は、FAXに「団体名・送付先情報・申請希望の助成名を明記」して請求

3. 応募方法

提出書類を揃えて封書で郵送のみ。(メールやFAX、持ち込みの受付はなし)

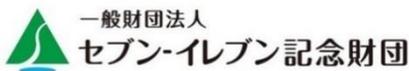
4. 申請期間 (年1回)

2016年度例：

2016年11月1日(火)～12月10日(土)当日消印有効

2017年度の詳細は、決定次第、店頭・ホームページなどで告知予定。

2017年度 環境市民活動助成



I. 一般財団法人セブン-イレブン記念財団の概要

1. 設立

II. 2016年度環境市民活動助成決定状況

1. 応募・助成決定状況

III. 2017年度環境市民活動助成概要

1. 趣旨
2. 助成の種類
3. 対象活動分野
4. スケジュール
5. 応募要項

I-1. 団体の設立



セブン-イレブン記念財団は、セブン-イレブン加盟店と(株)セブン-イレブン・ジャパンが一体となって環境をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的として、セブン-イレブン店頭でお客様からお預かりした募金と、(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金をもとに活動しています。
環境市民活動助成を通じて市民団体による環境活動を支援しています。

II-1. 2016年度環境市民活動助成の状況

助成の種類	応募状況		助成決定状況	
	件数	金額	件数	金額
活動助成	256件	215,403,224円	167件	108,709,884円
NPO基盤強化助成	28件	101,935,543円	5件	18,741,794円
緑化植花助成	97件	27,969,821円	72件	19,726,409円
清掃助成	57件	7,411,669円	50件	5,766,409円
合計	448件	352,720,257円	294件	152,944,496円

- ・2016年度助成決定件数: 294件(2015年度254件、+40件)
- ・総予算15,000万円のところ15,294万円を助成
- ・市民による活動を支援する制度
⇒活動助成が中心
⇒身近な緑化植花助成、清掃助成の決定数が多い

III-1. 2016年度環境市民活動助成

環境市民活動助成の趣旨



環境市民活動助成の趣旨

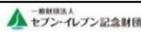
- 環境活動を行う市民団体の発展につなげていく。
 - ・環境市民団体が新しい社会の担い手として活躍できるように市民が主体的に行っている環境活動を支援
 - ・人材育成、安定した基盤づくり
⇒NPO基盤強化助成
- 市民が行う環境活動を支援。任意団体でも市民が行う活動を対象。対象団体
NPO法人、一般社団法人、任意団体

III-2. 2017年度環境市民活動助成の種類

	NPO基盤強化助成	活動助成	緑化植花助成	清掃助成
趣旨	助成期間内に財政基盤を強化し、活動を継続することができる自主事業の確立を目指す団体を支援	環境市民活動に必要な経費を支援	緑と花咲く街並みをつくる活動を支援	ごみのない環境をつくる活動を支援
対象団体	「環境の保全を図る」活動が活動分野と認証され、法人として3年以上活動実績のあるNPO法人	NPO法人 一般社団法人 任意団体 (環境をテーマにしていること)	継続して組織的に活動を行っている市民団体	年間を通じ定期的に清掃を行っている市民団体
助成枠	年間助成金額 400万円×3年間 6団体 3年間継続	年間助成金額 NPO、一般社団: 200万円/1団体 任意: 50万円/1団体 総額1億円 単年	年間助成金額 上限40万円/1団体 総額2000万円 単年	年間助成金額 上限20万円/1団体 総額600万円 単年

助成額総予算 1億5,000万円、各助成とも総額範囲内で助成団体数決定

Ⅲ-3. 2016年度環境市民活動助成の対象分野



対象活動分野と助成の種類	NPO基盤強化助成	活動助成	植花助成助成	清掃助成
自然環境の保護・保全	①森林の保護・保全	●	●	
	②里地里山、里海の保全	●	●	
	③その他の自然環境の保護・保全	●	●	
野生動植物種の保護・保全	●	●		
体験型環境学習活動	●	●		
環境の負荷を軽減する生活をテーマにした活動	●	●		
清掃活動				●
緑化植花活動			●	

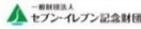
- ・団体の設立趣意、目的、活動内容にあわせて活動分野を選定
- ・複数の事業を行っている場合、申請する事業にあわせて活動分野を選定目的や優先順位を明確にする

Ⅲ-4. スケジュール

	活動助成	NPO基盤強化助成	緑化植花助成	清掃助成
募集開始	2016年11月1日(火)			
応募締切	2016年12月10日(土)(当日消印有効)			
専門審査会	2月下旬		2月中旬	
最終審査会	3月中旬			—
助成決定	3月下旬		3月中旬	
助成金振込	4月下旬までに順次		3月末までに順次	

- ・余裕をもって計画的に申請書を作成
- ・何人かで見直す(第三者の方に見ていただくことも有効)

Ⅲ-5. 2016年度環境市民活動助成の応募要項



応募先
〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8
一般財団法人セブン・イレブン記念財団 ○○助成係
※○○の中には申請する助成名を記入してください。
(活動、NPO基盤強化、緑化植花、清掃)

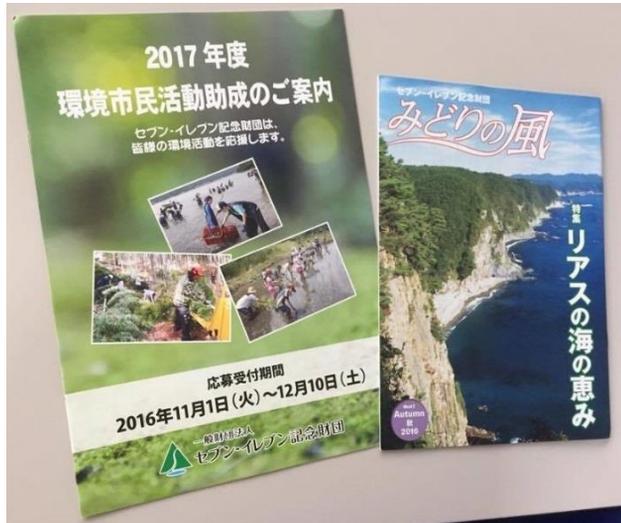
応募方法
申請書に必要事項を明記の上、提出書類を添えて封筒で郵送してください。
※EメールやFAX、お持ち込みによる応募は受け付けておりません。

申請書の入手
1.当財団のホームページからダウンロードできます。
URL <http://www.7midori.org>
2.下記の事項を明記し、FAXにて請求してください。
●団体名
●送付先の郵便番号・住所・氏名・電話番号
●申請する助成名
※FAX 03-3261-2513

申請書記入と提出書類について
1.申請書の記入は、枠内に内容を簡潔に具体的にまとめてください。
2.提出できない書類がある場合は、理由を明記してください。
3.これから新たに活動を始めようとする団体は、事業報告書・会計報告書が提出できない理由として、「活動実績なし」と明記してください。
また、活動実績が1年に満たない場合は、活動開始日から2017年3月31日までの事業報告書(見込み)、収支報告書(見込み)を提出してください。
4.団体により、事業年度開始の日が異なっても、2017年度の助成は、2017年4月1日～2018年3月31日の活動について申請してください。
5.申請書類の返却はいたしません。書類は全てコピー(写し)を取り、必ずお手元に保存してください。

一般財団法人 セブン・イレブン記念財団
〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8
TEL 03-6238-3872 FAX 03-3261-2513
Eメール oubo.17b@7midori.org

応募受付期間
2016年11月1日(火)～12月10日(土)(当日消印有効)



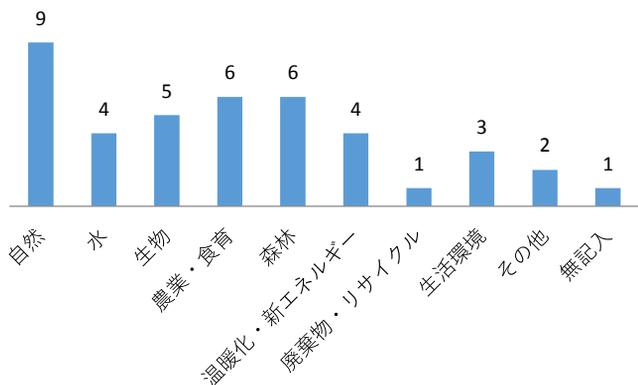
一般財団法人セブン・イレブン記念財団 問合せ先

団体所在地	〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8
電話	03-6238-3872
ファックス	03-3261-2513
ホームページ	http://www.7midori.org/
メールアドレス	oubo.17b@7midori.org

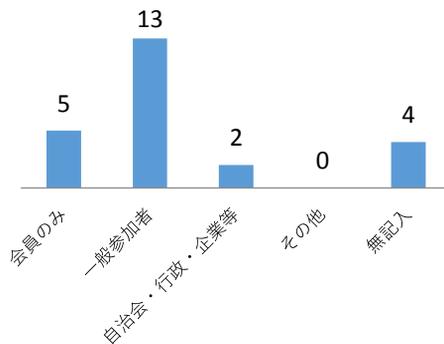
5. アンケートの結果

◆ 団体について

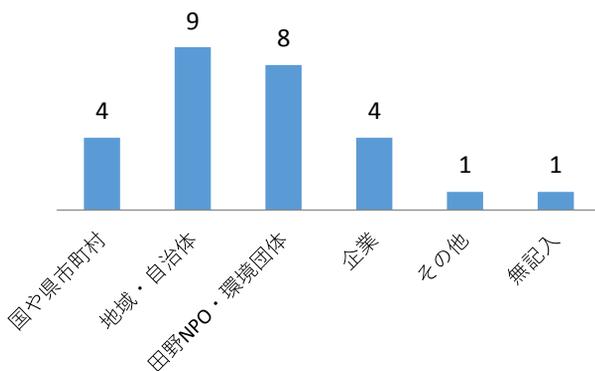
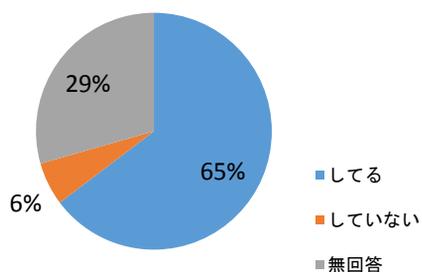
1.どのような分野の活動か？



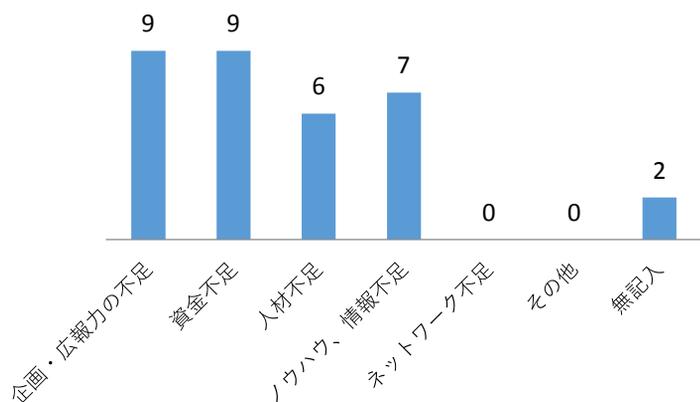
2.活動の参加対象？



3.活動実施にあたり、他の団体等と連携していますか？連携している場合の主な連携先を教えてください。



4.貴団体で環境活動をするにあたっての課題があればご記入下さい。



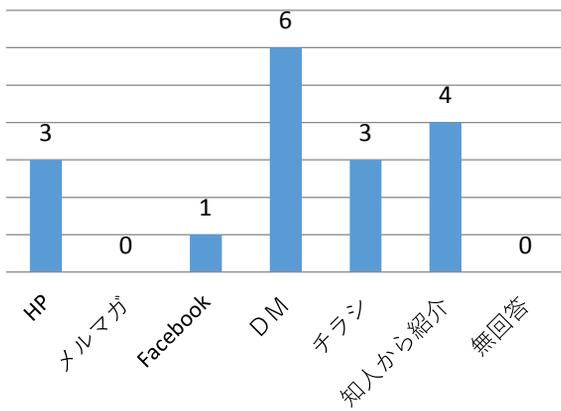
5.イベントに参加しやすい曜日と時間帯を教えてください。

イベントに参加しやすい曜日と時間

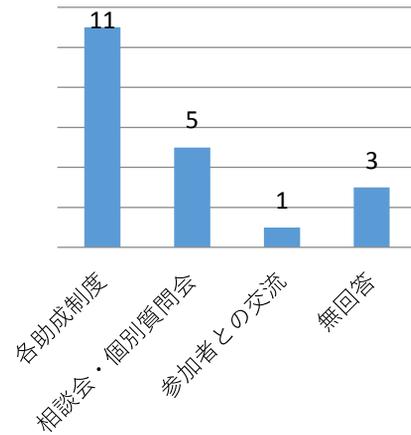
	午前中	12時～15時	18時以降	時間指定無し
平日			1	
(火) (木)			1	
(土)	4		1	
(日)	6			3
祝日	1	1		1
その他いつでも				2

◆ 今回の環境市民活動助成金セミナーについてお答えください。

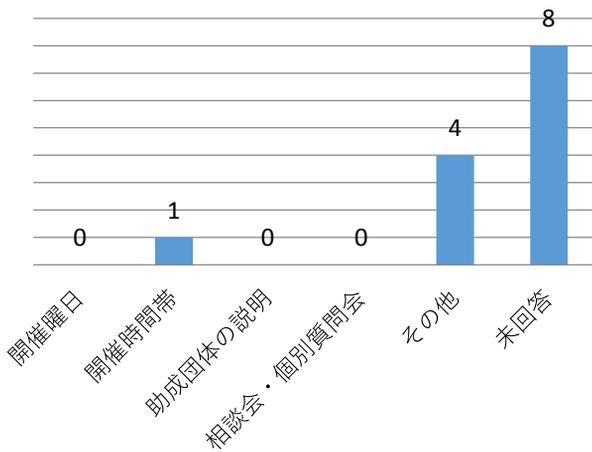
1.何を見て参加されましたか？



2.興味があったプログラムはなんですか？



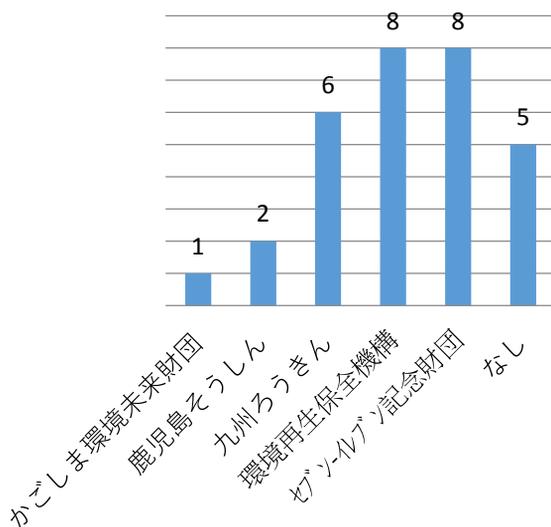
3.改善した方がよいと思われた事やプログラム等ありましたか？



その他：

- 参加費 (2)
- 資料に読みにくい箇所があった
- 秋はイベント・企画が多いので、時期をずらした開催を希望
- 質疑応答で、質問が分かりにくい場合が多い。
- 主催者側のコーディネーターが一度まとめた上で、各社から回答をいただく等分かり易く

4.助成申請をしてみたい助成制度はありましたか？



■ 理由

- 具体的なお話をさせていただいて、可能性もあるように思われたので。
- 目的にかなう助成メニューが用意されている (2)
- 連続申請ができる。自主事業の確立を目指す助成があるため。
- 助成団体の助成を出す方向性が自分たちの活動に合うと感じたから
- 団体活動を大きくしたいため

■ その他意見等

- 同じ内容の相談でも、制度によって、反応や対策 (対応) が違うことや、得意、不得意の分野が違うことがわかり、とてもよかった。このように複数、同時に、相談や質問を出来る機会であるからこそだと思いました。貴重で、有益な機会でした。ありがとうございました。
- 開催に関するメールを丁寧に送っていただきありがとうございました。
- 参考になりました。資料が白黒で (黒部分) が見えにくい。
- 分かりやすくどの団体も助成金制度を説明して頂いたので良かった。今後、活動していく時に助成金制度 (適当になる) を見つけるための情報として役に立つと思った。

6. セミナー開催の様子



助成団体説明会



個別相談会へのオリエンテーション



個別相談会



各団体が企画書などを持参して具体的な相談をおこないました。「こんな質問もしてもいいものだろうか」と迷う団体も、九州環境サポートセンターとの相談を経て、助成団体窓口の方と直接資金や運営についてを相談する機会を持つことができました。

助成金セミナーへは、具体的な企画案や予算案を持参して臨むことで、申請に際しての的確な指摘やアドバイスを受けることができる可能性が広がります。心構えなど、九州環境サポートセンターへご相談ください。

7. 2016年度配布資料について

本年度は、参加助成団体様に提供いただきました申請のポイント等の要点をまとめた発表スライド、応募要項のチラシ・冊子、助成金制度の一覧表等を配布いたしました



以下の団体様・企業様に資料の御提供をいただきました。（敬称略・順不同）
当日、参加者特典として、当日資料とともに配布しました。
また、記念冊子等は希望者に配布いたしました。
資料の御提供ありがとうございました。

- TOTO 株式会社 様
- 公益財団法人自然保護助成基金 様
- 積水ハウス 様



助成申請関係資料を御提供いただける助成団体様・企業様の御連絡をお待ちしております。

実施当日にも配布させていただきます。

NPO法人九州環境サポートセンター事務局
(TEL：096-277-9660)

2017年度は **9月16日(土)長崎県**にて開催予定

助成金申請の可能性を
身近に感じ活用できるチャンスです！

私たちは、九州の環境市民活動を応援しています！

主催：

特定非営利活動法人
九州環境サポートセンター



〒860-0805

熊本県熊本市中央区桜町2-37 錦桜町ビル3階A号室

TEL:096-277-9660 FAX:096-277-9655

E-mail: info@q-support.org

HP: <http://www.q-support.org/>

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団



一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

本セミナーは一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けて開催されます。

後援：

公益財団法人かごしま環境未来財団